

# バストス週報

第六四六号  
昭和卅七年  
八月廿四日  
発行

DIRETOR  
KOITI MORI

REDATOR  
SHION ODA

RUA PRES.  
VARGAS 188  
C. Postal 119

**BASTOS**  
C. P.

ANUAL  
CR. \$  
300,00

桃源 35

## 畑中さんの感慨

ハタナカシリーズの1

数年前誰かの発案でバストス開植の主  
畑中仙次郎氏の傳記を書き之を上梓して  
一般に配布(有料)する計画が樹てられ  
たことを耳にしたことがある。その後も  
時折それに関連した噂をきくこともあ  
たが本にするとなると相当な金がかかる  
し、伝記を書く人も資料集めに随分苦勞  
がある。で実現は容易であるまい。その  
ための翁の一代記執筆されつつあるとい  
う話をきいたことはない。

そこで私が……といつてはおこがまし  
いが後日畑中氏の伝記を書く人の参考  
にも、思い断片的記述を残す計画を思  
いた。それは去る八月十四日に行われ  
畑中氏夫妻の金婚式に招待を受け同家の  
ロンドで催された金婚ミサの壮麗な光景に  
接した瞬間、もつと端的に云うならば私  
の立つている二米ばかり前祭壇にやど  
く腰掛けていた畑中氏のうしろ姿にじつと  
目を注いだ時からであった。畑中さんは  
長いミサの間殆んど身じろぎをせず首を  
前方に垂れて、膝からはかかたが、その  
とることでもできなかつたが、その動  
い両肩からは何か神々しいものの発散  
録器でないか感ぜられた。その瞬間眞  
録器でないか感ぜられた。その瞬間眞  
と頭を少しも動かさなかつた。その瞬間眞  
と文章の一角をかすめたことをおぼえて  
る方法だが、力が伴わないとつまらない  
ものに終る。私の筆力では畑中さんのこ  
れまでを綴るにはけんそんでなく力が足  
りない。自分を知らぬ者は自身である。そ  
こで私の考えた一つの案は正面から畑中  
仙次郎翁の伝記著述に取組むことである。  
金婚式場の畑中氏、西氏を作っている畑  
中氏、A氏やB氏の見た畑中親、C氏の  
見た畑中氏の横顔といったものを、時に  
ふれ折に悩んで記録しておくことである。  
或は一つの映画を構成するかも知れない  
。これなら私にも出来ないこともあるま  
いと考えたのであった。畑中氏に関する  
一文が幸い私の手によって纏った場合  
週報上の一文として皆さんによんで頂く  
は、又読者の賛成支援を得て投稿を得る  
方ならは年代は前後の差異はあろうとも

Alfaiataria Imperial



ほれほれする  
マルヤマのテルノ

丸山洋服店

### マグネタイザ！ 磁力放射器

手足や肩、腰など痛む人  
胃腸の重苦しい人  
カンサードの人

ききめが判るので  
とてもたのしい



### Casa Ueki

フレスタソンの  
ご相談に  
ます

ミンシならエルジンにおきめ下さい  
マルティロでたたいも狂いの来ない堅牢と  
蛍光灯が光りを増す程の美しさ  
ラ、ラランのリズミカルな、すべる様な運針  
フレスタソンの御利用！

カサウエキ

### Sapataria Bastos



早川靴店

良い靴とは何ぞや？  
答、上品な体裁、丈夫、軽快、そして安い

種々の角度から見た畑中さんの映像が、このころではあるまいか。どうかバストスに居られると聖市その他の地に住まわれるとを問わす、畑中さんを知る方である限り、どうか私のこの企てに御協力を願い、「こんなことがあった」「ひどい目にあった」「助けられた」あなた自身辺にあらわれた畑中さんの姿を書いて寄せられたい。

畑中氏は本年七十四歳ということだ。百歳の長寿者から見れば子供かも知れないが人生七十を古稀という。百歳の長寿者たらんことを祈願するは勿論だが、畑中史を書いたとて失礼にはなるまい。畑中さんの書くいいわけとする。

スナツアを

### 五十年前住んだ家

七月の入植祭前から三日位の予定でグアタマラへ遊びに行かないかと山中三郎氏に誘われていたが、旅行に弱い私はあいまいな返事しかなかった。ところが八月十日突然あらわれて、かねての計画を八月十三日(月)より三日間(十五日水曜日)にわたって実行することとなった。携帯品は毛布、同行者は畑中翁、織田老、佐々木救護班長、谷口製糸場長、内馬場コアラ評議員、山中企画院長、宮崎映真班兼運輸司長の七名、出発は十三日午前七時、とまると軍隊のような命令で百疋をいわせぬ。

この文章では紀行的なことや事柄も書くことはかくが焦点をざりざりに絞って出来るだけ畑中さんのスケッチを試みることにする。

畑中氏の旅装、淡色のシャツに縞のネクタイ、毛糸のジャケツ、洗い上下に黒のオーバー、持物はスツケスに薄い旅行用掛鞆。昨夜から又急に温度が下がったので風邪でも引かれては大変と奥さんが邪魔にはならんから是非着て行きたいと着せかけた冬用のオーバーだった。だが、全く着て行つてよかつた程その日は、大ホサに云うと寒かつた。

マリリア、バウル、アララクワラを経てパウリスタ本線がタパラ本耕地の向い側、鍾ク江耕地につく。午後四時、八時間を要している。目的地がタパラが遙か前方に魅々と広がり、何千アルセルが見当もつかぬ平原湿地帯がクリクのような排水溝に交えられて米作地となっている。今は稲の収穫は了つて、ライジョンが栄えていた近頃のように米が五コト豆が二コト近くもすれは、一作何千何万コトの豊收で大畧の在り方を始めて教えられたように思う。

畑中さんは鍾ク江氏とは旧知で久瀬と紋す可く立ちよつたのだ。だが生憎出聖中で不在、元畑中氏方に居り小野義種氏の妹と結婚している。Oワ氏が鍾ク江農場に

## アバテドール 焼鶏買入

サンパウロの瀧本秀政 経営  
バストス焼鶏処理場  
主任 戸田 勝

このたびバストス焼鶏工場を経営することになりました。資本主は従来おなじみの聖市瀧本商会ですが、どうもよろしく。又値段もぐんと張り込み皆様の御満足のいく様計らいますから、おしとし御用命下さい。

八月初旬よりフンシヨナして居ります。



アバテドール  
バストス  
瀧本商会

居るので同氏の案内でカタパハラ新農場へつれていってもらった。

畑中さんが老巻に鞭をあてカタパハラ逆視察訪問をしたのには大きなわけがあった。それは今から五十年前、即ち一八二二年五月八日イックシマ丸で百何十家族の移民と共にサントスに着き、その内の数十家族と一しよに配耕された思い出で、地だからである。

カタパハラ耕地というところの頃の大ラゼンタで耕主はアントニオ・アラッスという人だった。面積七、五百城、全山珈琲を以て蔽われていた。使用人コロノはイタリア系で占めていたが時々賃銀値上運動をやりに、今でいうスレーブのようなことをやるので支配人サルトリオ、こやつ中々のしたたか者だった。がストライキを切りにせず一方策を案出したのが日本人コロノ。導入であった。お前たちストライキやるならやれ、今や優秀なる日本人コロノが何百人でもやってくる。その時泣きながらあやまっても承知しない。恰も豆丸で来た人、二十三家族がカタパハラにコロノとして入って来たがこれが同耕地と日本移民との接触の始まりであったという。これらの世話をしたのが平野運平さんという三十歳位の豪傑青年であった。この平野さんの手引で畑中さんは渡伯し、渡伯するとすく平野さんの職場へ

# スーパー味面白帖

しょうゆの味

漫画家加藤芳郎

ひじきの煮つけ、ナマノリのシウウガ煮、せんまいの煮付、これなら毎食でも飽かない。しょうゆの味がともかく好きで少々気に入らぬ材料でもシウウユで煮てあればごきうんだ。

季節がら「ニラ卵」これが家でよんでいるニラの卵とじは大好物。新ニラを生のまま切ってカツオ節としょうゆで味つけし卵のほぐしたのをまぶすだけだが春の田舎のにおいがそのまま出ている。

その料理は手を加えず、さるせいもあり高いのではとんど利用しない。しょうゆの塩からさがないからだ。これは料理道からはずれるだろうが、みそ汁にしたって仙台みそに臭をこたごた入れなければみそ汁と思っくいらないのだから、料理屋で出るあの白っぽいすまし汁などは、どうも物足りない。

最近では家内もすっかり、しょうゆの味が身について色々工夫をしてくれる。その一つに「朝鮮焼」というのがある。これは酒のサカナにもうまい。牛肉のロースを醤油の中にニンニク、砂糖少量、トウガラシ、いりごまをまぜ、この中に三分分くらいつけかけておく。これをフライパンでじゅう焼き乍らたべる。熱いところがいい。

スーパー味は、あじつけの王様 滋養の王者  
どんな料理にもスーパー味はついてまわる!!!

RUA CONDE DO PINHAL, 98 SÃO PAULO

発売元 遠藤株式会社

SUPERAGI

Tempêro de Alta Qualidade.

Glutamato de monosodio 99.9%



へ入ったのだった。平野さんは日本家族救百人を入れる業をまて早くも日本人部の支那人であった。

捨て、カタハラ耕地の低地を走っている時、鉄道線路をふみ切った時だった。えらいくさむらの中にレールがあるなと思っただけ、畑中さんクスツと笑い出し、

民に鬻鬻たる日本移民が、サツコを背負い鍋をさか、赤子を小脇にかかえ、初めて見る、ろせんタの偉容と恐怖にうちひしがれた姿と、今見る晴々と希望に燃えた企業移民の明朗の姿が錯綜して何か幻想的かろうか。

吾々の車がジャミツクと横文字書きにされたジントの家、カタハラ出荷組合のラッカのある家、コチア産組購買部その他自壁の十数棟の建っている、将来の市街地らしい所につくと、間もなく、ホンボンと爆音を立てながら四五人の家族をレボッキにのせてバタ耕地を操縦して仕事から帰ってくる、幾組かの家族に出会った。その家族たちの仮舎の前には荷造りのままの荷物が山積され一家のものとおほしき自転車、二台も三台も立てかけてある。さすがに移民とは古い條、コロノ移民とは格段の差がある。さげは土地代百二十万、川(五域)を日本へ全納し船賃は政府から借りても当座の生活費二十万、現ナマで持って来ねはならず、営業資金四百コ、額は現地で借りるにしても家財道具の額に至っては三十年前と比較しても天地ほどの差がある。

五十年後のカタハラはすっかり愛親してしまつて畑中さんの訛憶をよびます。ものもなく午後五時半、ジャミツク本部へついた。新カタハラ村はカタハラ耕地の一部低湿地のモジバシ河の平原付近三千五百畝を購入して築足したものだ。畑中さんの胸中には、五十年前に、北伯難

この人たちに、このカタハラで私は五十

年前この生活をして来た者です。い  
らぬ老安んかも知れないが、時代の憂遷  
こそあれ、農に対する覚悟や精神に衰り  
のあらう筈はない。二つの気持ちに依  
えたいもんだと畑中さんが思つたとして  
も、ごうさら不思議はない筈である。

コチア産組の大島さんという出張所主  
任さんの茶走でその夜三十人程の新植民  
者が畑中さんの話をきくために集つた。  
小さな部落ではあるが茶電もしている。  
少年少女のため正規の小学校もある。そ  
の教室で畑中さんは淳々と自らの来し方  
を説き、農業の在り方を説いた。自分の  
居たのは五十年も昔のことだが、再びこ  
のクワバウが日本人によつて新しい歩み  
を初めることは、三十四年前自分の開いた  
バストス移住地とは一脈相通するものが  
ある。目的とする主作物については大衆  
ちがうが管農精神は一致するものでなく  
てはならない。どうか不撓不屈の精神で  
やつて貰いたい。どうか不撓不屈の精神で  
正直のところ畑中さんは話術は下手で  
ある。後年畑中さんがお世辞に話術  
巧みにして或は人を歓喜せしめ或は人の  
紅涙を絞りなどと書く人があつたらそれ  
は筆の綾で反対と思つてさしつかえない。  
話術の巧みは多分に音量によるが、こ  
の会直流電気のモーターの音が高く、畑中  
さんの低声、モーターにおさえられ十米ぐら  
い後では全く判らない位であつた。内容は  
よい要素に充ちていたので惜しかった。  
(私はガサツ者だから帰村してから遠慮  
なく会場と人数によつて音量をコントロールし  
ない限り話の価値が半減すると述べた。  
別に失礼とは思つていない)

その夜おそく畑中さんは迎へのジープ  
で鐘ヶ江耕地へ宿泊に赴き、山中内馬場  
宮崎三氏は収容所へ泊めてもらひ、谷口  
佐々木両氏と私の三人は十キロ程隔つて  
居るクワバウ本耕地のホテルへ送つてい  
てもらつた。前以つて電話で通じてあつ  
たので夜中であつたが扉をあけて待つて  
いてくれた。

翌十五日クワバウ村を見せてもらひ午後  
ここを出立、本耕地に向う。昨夜宿泊し  
た処だが、昼来て見ると又趣がちがう。  
製糖工場、シネマ館学校などが目につく。  
車がやや中央を通ると前面に白ぬり  
の古いレンガ建が四五軒見える。  
「わかりました。あれです。あの白い家  
の一番左端の家です。はじめて旅装を解  
いた家です」と畑中さんは指をさす。  
五十年前の古い家。その後何代も住人  
が変つたであらうその家に、結婚後まも  
ない畑中氏夫妻は住むことになり、二年  
の月日々々ここですごした。  
その頃日本人コロノは百五十家族ほど  
居た、今下区の長老として健在の白須千

之助老もその頃の一員であつたといふ。  
当時の日給は二針で、珈琲採集賃は一俵  
一針だつた。支配人平野達平氏の月給が  
四百針、二十四歳の新来青年わが畑中仙  
次郎氏はその頃として破格の金百針也  
を頂戴に及び年末には一ヶ月分のホー十  
スも出ている。夫婦暮しで生活費もかか  
らなかつた。夫は奥さんのしやう子さ  
ん、まだ二十歳の力サキと信せ、お伯人た  
ちはモツサだと聞いていた。この奥さんコ  
ロノの子達へ日本語を教えたといふこと  
なる。月謝などはいらぬといつても親達  
が承知せず月々なにかの金をもつて  
来たといふ。夫人は余暇には皮すきシン  
きふみ(もうその頃リスレットからシンガミシンの代  
理人があつた。アレスタンで売りに来た)可成りの  
収入を上げた。畑中さんによると「ひよ  
とすると家内の方がわしよりよけい儲  
たかも知れん」といふ位であつた。畑中  
さんはその年末故郷の母親へ大枚六百針  
送金した。とさして私は目頭の熱くな  
るのを覚えた。

御 礼

翌年その家で長男の忠雄さんが生れた  
水は逝いてかえらなす。月日は流  
斗として夢の如く過ぎる。しかしその古  
い家は傾きもせずそのままのこつてい  
畑中さんはしはし懐し相に見つめていた。  
大正八・十六・米音

渡部 和史 様  
佳美 様

御 礼

金五千クルゼーロス也  
このたび正判事に御就任御目出度うござ  
います。又先月始めで結婚にゴールイン  
され、重ねがさねの御慶事、私共一  
同およろこび申上ります。  
又その記念として表記金員御奇贈を  
受け一同に代り厚く御礼申上ります。  
八月十二日  
A.C.M.B. バストス文化青年協会  
石橋道之進

渡部 和史 様

# 声 明 書

野球ルール反則に  
対する抗議

去る八月十日、十一日、十二日の三日間オズワルドクルース球場に於て開催された本年度パウリスタ野球選手権大会に不肖私はバストス球団の責任者として出場して居りました。

恰も大会第三日、準決勝戦バストス対マリリア戦の第五回戦バストス守備の時の事でありませぬ。相手側チームが反則打球の拳に出ました。即ち我方投手のカーブに備えて最初からバッターボックスの前方に位置し片足を線外に踏み出して打球した事に対し主審に対して相手側の反則行為を指摘したにも拘わらず、主審は打者に対し一言の注意を与えませんでした。第七回戦に於ても再度反則打球を繰越

えした。か主審は平然と看過するので、やむを得ず当方より審判に向つてバッターアウトの抗議を申入れたのであります。然るに審判部では片足を線外に出した位は大目に見てくれといひますので当方は反則を大目に見ることは出来兼ねる。良くルールを調べて見る様再度提議した処審判部からの返事は「打者に悪意なく片足が外に出た時は見逃されるとルールにあり、主審は打者に悪意なしと認め従つて反則打球とは認めない」との事で当方の抗議は遂に一蹴されたのでした。

このように正当なる抗議が通らぬと云ふことは私の不徳の致す処、又力の足らざる結果と思ひますので、バストス体育連盟副会長及び同野球部長を辞退し後任には、対外的に発言力の強い人格者を推されんことを希ひます。最後に一般ファンの方へ御参考迄に五十六年度野球ルールの内今回の事件に關係のある箇所だけ披

草してあ目にかけてます。

○九十六頁 次の場合打者は反則行為で

アウトとなる。(Aは省す)

B 打者が球を打ったとき何れかの足がバッターボックスの外に出ていた場合

(註一は省す)

註二 打者が普通の姿勢で球を打った時悪意なくその踏張りが大きすぎてバツターボックスの外に片足が出た場合などは見逃がされる。しかし打者が不当な利益を得るために或は故意にバッターボックスの外に踏み出して打つた時はアウトとしなければならぬ。

例えはスクイズプレイを防ぐ為め投手の投げたウエストボールを打者がバッターボックスの外に踏み出してバッドした時、又は投手のカーブに備える為め最初から著しくバッターボックスの前方に位置し線外に踏み出して打つが如きは反則として審判すべきである。但し後の場合主審は打者の位置を變更させるのが總当である。

○大体右の通りルールではきまつて居り、当方投手のカーブを組つて故意に片足を踏出す反則行為を抗議するバストスの主張は、正当なものであります。しかしこの正当な抗議が通らないという事は前述の様に私の力が足りない事に起因致します故、茲に声明書を出してバストス野球ファン諸士にお詫びをする次第であります。

八月十七日

柳 浦 龍 太 郎

各 位

# バスカマラ便利

バス市会では畑中忠雄氏谷口淳氏両議員パラナ地方へ転居のため去る八月八日の市会での如く編成替えを行った畑中氏の代り 島本昇氏 第二書記 小林氏の代り 橋本輝敏氏 松原雅春氏は谷口氏に代り議長となる 小林平行氏は本年中休暇をとる

## オールドボイス

マリリア遠征の壮途に上る

来る八月廿六日マリリア市で開催されるオールドボイス野球大会に出場するためわがバス軍は陣容を整え必勝を期して遠征の途に上ることとなり、すでに合宿も了り家族とも悲壯な秋別の宴をすましたというのである。

## 檄

オールドボイス野球軍総勢四十名

勝たずんば死すとも還らざる軍を馳る夷狄マキヤの地 白球を彼が頭に放つて叫ぶ

出発時間 八月廿六日(金)午前五時

出発場所 柳浦バール前の小型飛行場のりもの 大型四十名乗ヘリコプター

座席の都合ある故大至急連絡あれ 人員多き時はヘリコプターの屋根にのせむかも知れず

尚オールドボイスの編成を見ると左の如き堂々たるものである。なるほどこれにバスマンが負けれんワイ。

### 名誉引率責任者

上田 敏 雄

### 医療部 担当

西田 春 一

### 波瀾班 担当

DR 木村 武 雄

### 第一財務担当

柳浦 秀 太 郎

### 第二財務担当

小林 秀 一 郎

佐藤 一 男  
友谷 オスカル

下段へつづく

### ○運輸部 担当

信 大 松 茂

### ○監督 助監督

渡 部 孝 一  
板 垣 梯 一  
細 江 藤 一

### ○主将

丸 庭 亮 亮

- 1 (投) 郷原 弓削 前田 鴨原
- 2 (捕) 小橋 竹内義雄
- 3 (一塁) 板垣 崎田 小林光彦
- 4 (二塁) 谷田部 茂庭憲 友谷元
- 5 (三塁) 北谷 古谷 佐藤操一
- 6 (遊) 小野 塚 龍
- 7 (中) 茂庭 義 横田 正義
- 8 (右) 竹内 清 西 浜田 正義
- 9 (左) 杉重 東 東行雄 黒川 佐藤 勇

## 御 礼

金一封 右ハ去ル七月八日 御令聞キニ様御幕儀ノ 御礼奉美返シトシテ 御寄贈ニ相成リマシタ 有難ク御礼申上ケマス 七月二十日

諸 角 栄 吉 様 エスペランサ 青年 団

(本庄若ハ編集部の手落ちで掲載がとれ申わけありません)

## №15 全伯少年野球大会観戦諸

聖市 落 龜 作 市

- 1 待望久し全伯の 第十五回野球戦 整備成りたる球場は、コルコチアのカンボなる
- 2 よりすむられし八球団 総勢百有数十名 吹く風寒き原頭に、意気軒昂の少年軍
- 3 身に纏自ぬニホム、心も軽く身も軽く きびきびとした動作にも 次代を背負う力あり
- 4 打ちつ打たれつ 攻防の、カ一杯 逸かきり 追いつ追われつ 熱戦の、手に汗握る観戦者
- 5 在聖バスス出身の 応援団の面々は 郷土の誉れを忘るなと 声を酒らして応援す
- 6 味方の小粒に比べれば 敵は名に負うパラナ軍 投手菅田のぞいては みんなどっかい大選手
- 7 球神彼に味方して 三、五、三と得点す 小粒下らも食いさかり バススニ、五と追撃す
- 8 これと無念や得点の、ああ挽回のチャンスなく 4点の差にふり切られ 一敗土にまみれたる
- 9 敗れて悔いのなき試合、心にかかる雲もなし よくもここまですごきつりし 育ての親に感謝する
- 10 戦すんで陽がおちて 暮色たな引く原野に よくもまたとねさうえは、にっとはにかむ少年

七月二十日作 在聖バスス 自林 広 接田 長 作

Tecidos de superior qualidade em padrões modernos A preços realmente camaradas

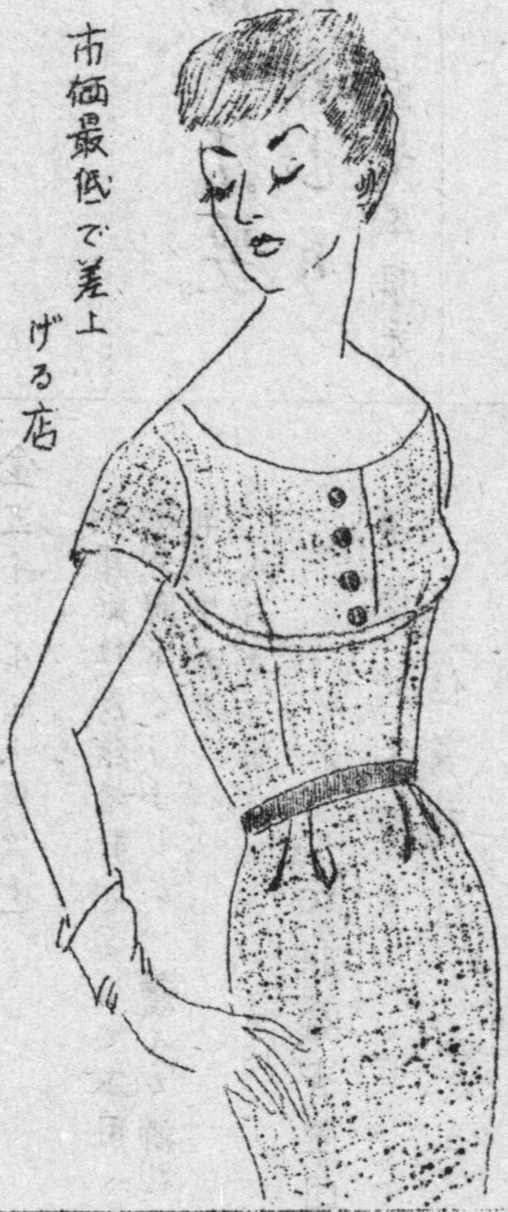
ONDE TODOS COMPRAM

# CASAS PERNAMBUCANAS

八月中

テスコントがありますから  
御利用下さい

只今本年の新柄が沢山入荷いたしました。ごらんになるだけでも、けつこうです。ぜひおたちより下さい。アルゴドン地、ブリン・トリコリーネ、セーダ、ラン。何でもそろって居ります。



カーザス パルナンプカーサス

バストス支店

市価最低で差上げの店

## 田村連邦代議士の話

八月一日ツパン放送

### 教育と信仰

連邦下院の議席三二六の中の一員となつて過去八年間にその使命を果して来たがブラジルをもっと立派な国とするには教育の問題が先ず取り上げられる。経済の問題も大切だが、更に教育に力を注ぐねはならない。人間は神の象をした社会的動物といわれるが、社会生活をよりよめるものとするには各自が社会人としての義務を自覚しなければならぬ。義務には色々ある。神に対する人間としての義務、家庭に対する義務、社会に対する義務、国家に対する義務、人国民としての義務を果さんとすること、同時に神を愛し義務を果さんとすること、同時に国家を愛し人類を愛することである。人類に対する義務、国家に対する義務をよく知りわきまえ、真心を以て尽さんとする心は即ち世界人としての義務のあらわれである。家庭を知り社会を知り義務を払い実行

するには、どうしても教育が必要である。又人間の靈魂の問題に無頓着であつてはならない。このように教養があり健全な肉体をもち神への信仰が宿るならば、そういう社会は栄え、そういう国家は恵まれる。教養も自覚もない人間はどうか。朝寐夜ふかし酒に酔いしれ煙草にむせる。このような不健全な社会国家に繁栄があるだろうか。神からさすかた靈魂も人智も教育によつてのみ磨かれる。神のお恵みによつて教育の方法を以て磨かれるのである。人智は磨かれて道徳となり智識となり神への信仰へ高められ、教育が最も必要であり、に於ては宗教的、教育が最も必要であり、聖書を根拠とする道徳は自らの根拠を作るものである。社会道徳を守る、そこに責任感が必然的に生ずる。愛国心はそこから萌芽するのである。礼儀正しく紳士道を守るならばそこに立派な次代の日系伯人ができる。世界平和の確立を期するならば先ず各人各人が責任をとらねばならぬ。世界的な立場より各人各人が責任を以て善処するならば世界平和は期して待つべきであらう。吾々はブラジルが益々道歩を展ずるために大いに努力しようではないか。

EMPRESA FUNERARIA IPORANS

COM O FITO DE FACILITAR AO POVO DE BASTOS, EVITANDO MAIORES DESPESAS COM COMPRAS DE CAIXOES FUNEBRES, COROAS ETC., EM CIDADES CIRCUNVIZINHAS, A EMPRESA FUNERARIA IPORANS, COM MATRIZ EM TUDA, RESOLVEU ABRIR FILIAL NESTA CIDADE, A RUA ADHEMAR DE BARROS, DEFRENTE A CASA KASITA. PROCURAR O SR. SHIGUEO SHIBATA.

イポランス葬儀会社

このたびツパン市に本店をもつイポランス葬儀会社がバストスに支店を設け皆様の御用命に応ずることとなりました。棺花環其他葬儀用具は安価に且つ迅速にいたします。

ルア アデマル デ バロス 梶田商店 前  
柴田茂雄 とおたおね下さい

おしらせ

九月一日より牛乳値上げ  
新ねだん左の通りにつき御承知下さい

一 リットル 金三十クルゼーロス  
一 ガラファア金二十二クルゼーロス

バストス牛乳業者一同

各位様

八月二十六日(日)

午後はおほん法要

夜はほんおどり

バストス南米本願寺

御礼

金二千クルゼーロス也

貴家聖市へ御移転に際し御わかれ記念として当区へ御寄贈下さいました厚く御礼申上げます。

ウニオン区会計

池田佐次郎様

フンジルを発展せしむるには、まず教育の普及を計らねばならない。日本は明治維新の時長年に亘る鎖国主義を打ち破って先ず国民に教育を与えた。勤儉貯蓄の精神を基とする教育を以てのぞんだ。国民は所得の三四%を貯蓄する。有様で国力はうんと充実したのである。この勤儉貯蓄の精神、この美風を一世代のうちに二世へ教えずにはならない。人々の命であり最も名譽とする処である。私がかつて四年前御地へやって参りました。又その間四年かんは遠くはなれて居ましたが皆さんは私の心の中に居られたいのであります。お互いに前途に希望をもち尊敬し合いお互いに努力しようではありません。

私はフンジル経済の発展のため、もう一度当選を期したいと思っております。あすありと思ふ心の仇さくらよわに嵐のふかぬものは、諸君、勇気を以て明日といわす今すぐ立ち上って下さい。未来の国フンジルの建設のために、(放送時間一時同)の附記、田村さんの話の末尾には選挙に支持を依頼する言葉がありました。わがと累しました。尚かんじんの処で、きおとしがありました。は残念でした。八〇%以上は捉えたつもりです。お音

御礼

金五千クルゼーロス也

判事就任及結婚記念として本団へ御寄贈下さいました。謹んで御礼申上げます。

八月十一日

バストス聯合青年団

渡部 和夫様  
佳美様

御礼

金二千クルゼーロス也

このたび結婚記念として当団に御寄贈下さいました。有難く拝受。御象庭月満を希念いたします。

クロリア区

男女青年団

吉浦絹江様



死亡通知 並に  
会葬御礼

荊妻はる(七十二歳) 儀かねて病氣療養中の処薬石効なく去る七月十六日午前五時半永眠致し、翌十七日午後四時自宅出棺、バストス墓地に埋葬致しました。

茲に生前御交誼を賜わりました皆様、に謹んで御通知申し上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中遠路、態々御会葬下され且つ過分の香奠並に御供花を賜わり衷心より厚く御礼申し上げます。

実は一々拝眉の上御礼申上げべき処、取込中にて其の意を得ず、失礼乍ら紙上を以て御礼申し上げます。

一九六二年八月二十日

バストス中央区第一組  
喪主 夫 木 田 庄 次 郎  
長男 妻 多 路 子 美 子  
次男 妻 在 聖 市 敏 美 子  
三女 高 橋 忠 太 郎  
他 孫 一 同

友人代表  
渡 辺 叔 之 助  
有 馬 重 一

バストス中央区様  
中央区第一組様  
佛教婦人会様  
バンテランテ組合  
バストス出張所様  
プラ拓製系バストス  
エ場様  
マルツラー 区会様  
クルベ アクリコラ  
デ  
マルツラー様  
マルツラー男女青年会様  
マルツラー農友 会様  
同 婦人 部様  
知 友 各 位様

バストス歌会(七月廿九日)  
席題 「煙」

消えてゆく煙草の煙り灰皿に  
しぼしたゆとう さびしき対座  
熾なる炭火は煙あけてをり  
串より垂るる 脂 はじきて  
捨てられし煙草の煙細々と  
ゆらゆらと静けし 八月の歌座  
落葉焚く煙の地に遠へは  
サウバの列の急に乱れる  
落葉焚く煙りは直ぐに登り  
病舎の朝はいまだ静けし  
黒々と煙り吹きます工場の  
扉に 集ふ職 工 群れ  
煙突の煙は今日も昇り  
百余の工員の息吹きと調和  
三 丘 忠 雄 勝 甫 勘 一 羊 鈴 菊 子 扶 美

仙人掌 八月作品

干涸する壺家の厨は吹きさらし 糸音  
冬ぬくしスラジルトンホの花盛り 南天  
医師の足遠のく日々や冬温し 米子  
冬温し 通い女エの 声 高し 水仙  
痛新根元に割らん日脚のぶ 三丘  
遊々連の人形作り日脚のぶ 菊子

アイクとU型事件

米国の雑誌「ルック」にワイズロス両氏が「U型事件」を連載しているが、パワーズ飛行士がソ連に撃墜される事と前から当時の米大統領は心配していたことが明らかになった。アイクは「もしこのうちの一枚でも撃墜されたら私の責任になる。私はとんでもない目にあわされるだろう。世界も大騒ぎするに違いない」といった相対して、CIA(米中央情報局)に對し「もし撃墜されたらどういうことになるか」といって、答はいつも「これまで撃ち落とされたことはございませぬ」に決っていたという。

U型機事件に巻込まれた某高官が他の問題でアイクの所へ行くと「U型機のことだともう聞きたくない」といって、追返したといわれ、いかにこの事件をアイクが苦々しく思っていたかが分る。

ママ「いたずらすると国電にのせるわよ」といって子供を叱る

去る五月三日夜東京三河島付近の電車列車回重衝突の惨事、国鉄をやいたものである

八月二十四日(金) 夜八時 二十五日(土) 九時半 *Seitimo da Guerra*

東宝スコーラ 天然色 夜の流れ 司 葉子 白川由美 水谷良重 三益愛子  
山田五十鈴 草苗光子 熱路吹雪 宝田 明

八月二十六日(日) 九時半 二十七日(月) 八時 *OHOMEN QUE VEIO DO LESTE*

東宝スコーラ 天然色 東から来た男 加山雄三 星由里子 矢代和雄  
大坂志郎 佐藤 允 桂小金治

八月三十一日(金) 八時 九月一日(土) 九時半 *Conhectario ou Te natural*

東宝スコーラ 天然色 男対男 三橋敏郎 加山雄三 星由里子 志村 喬  
池部 良 白川由美 北あけみ 田崎 潤

九月二日(日) 九時半 九月三日(月) 八時 *Um bunico por um Amor*

東宝スコーラ 天然色 慕情の人 原 節子 白川由美 井上 靖 京作  
三橋 達也 坪内美津子 監督 丸山誠治

九月四日(火) 九月五日(水) 両夜とも 八時

日活スコーラ 天然色 南国土佐を後にして 小林 旭 高野由美  
淡丘ルリ子 南田洋子 ベニー 葉山

(二本立ての大サービス)

日活スコーラ シート 君恋し 清水まゆみ 小高雄ニ  
フランク永井 フランク永井のヒット曲「君恋し」の映画化  
愛して恋しきれぬ女の哀しみを鋭情味ゆたかに  
画く悲恋の物語

### Aviso de Cine-Bastos

## 急 告

来る九月二日(日曜日) 正午十二時より

グロリア一区 桑原久治郎氏農園に於て

# 柑橘研究会

を確します

主として、病害虫の予防及び駆除について実地講習をいたします  
午後のカネーの準備がございます

柑橘栽培者、青年団の方々、どうぞ、大多数御参加下さるよう、御案内  
尚、剩餘金の処分につき御相談致したく存じます 申上げます

八月二十日

世話人 上田 敏 夫  
山中 三 郎

各位